

日本地質学会第123年学術大会（2016東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■9月10日（土）午前

会場	第1会場（3305教室）	第2会場（3307教室）	第5会場（3405教室）
	R7. 海洋地質	R14. テクトニクス	T5. 都市地盤の地質学
	座長：1-6 板木拓也, 7-11 芦 寿一郎	座長：1-3 武藤 潤, 4-6 大橋聖和, 7-9 安江健一, 10-11 針金由美子	座長：1-3 中澤 努, 4-6 北田奈緒子, 7-9 小松原純子, 10-11 松浦一樹
9:00	9:00 R7-O-1 反射法データによる沖縄トラフの断層発達と海底火山の内部構造. 新井隆太 ・高橋 努・小平秀一・海宝由佳・三浦誠一・金田義行	9:00 R14-O-1 2016年熊本地震の地質学的背景と断層調査報告. 大橋聖和 ・向吉秀樹・小林健太	
	9:15 R7-O-2 富山トラフおよび周辺海域のネオテクトニクス. 竹内 章	9:15 R14-O-2 阿蘇山下のマグマレザーバと2016年熊本地震の破壊過程の関係：重力インバージョンにより推定される低密度体. 宮川歩夢 ・住田達哉・大久保泰邦・奥脇 亮・大坪 誠・上澤真平・八木勇治	
	9:30 R7-O-3★ 沿岸域に分布する活断層を対象としたSeismic Trenchingへの試み－日奈久断層帯海域延長部の例－. 八木雅俊 ・坂本 泉・田中博通・藤巻三樹雄・根元謙次・アイダン オメル	9:30 R14-O-3 熊本地震前後のb-値の時空変化. 大槻憲四郎	
	9:45 R7-O-4 熊野沖南海トラフ巨大分岐断層周辺の海底地すべり. 金松敏也 ・芦寿一郎・池原 研・KH-15-2 Leg3乗船者	9:45 R14-O-4 富士川河口断層帯における2014年度浅部高分解能地下構造探査の結果報告. 狩野謙一 ・伊藤谷生・渡辺俊樹・小田原啓・山本玄珠・藤原 明・阿部 進	9:45 T5-O-1 (招待) ★ 関東地域における強震動評価のための浅部・深部統合地盤モデルの構築. 先名重樹
	10:00 R7-O-5 貝化石を用いた東海沖シロウリガイ巨大コロニー形成過程の解明：放射性炭素年代の可能性. 矢ヶ崎一浩 ・芦 寿一郎・横山祐典・宮入陽介・倉本真一	10:00 R14-O-5 1948年福井地震震源域および福井平野東縁断層帯の高精度反射法地震探査および重力探査. 石山達也 ・佐藤比呂志・加藤直子・越谷 信・佐々木弾・戸田 茂	10:00 T5-O-2 微動アレー探査による伏在断層の新探索手法と課題. 原山 智 ・信州大学震動調査グループ
	10:15 R7-O-6 紀伊半島沖から採取された泥質タービダイトの特徴とその認定の試み. 奥津なつみ ・芦寿一郎・大村亜希子・山口飛鳥・菅沼悠介・金松敏也・村山雅史	10:15 R14-O-6 四国西部, 古第三紀における中央構造線のK-Ar年代測定による運動時期. 窪田安打 ・竹下徹・八木公史・板谷徹丸	10:15 T5-O-3★ 関東平野南部, 武蔵野台地地下に伏在する上総層群の層序・編年に関する最近の研究. 鈴木毅彦
	10:30 (休憩)	10:30 R14-O-7 中部地方の領家花崗岩中に発達するヒールドマイクロクラックを用いた古応力解析：特に中央構造線と直交する方向での変化について. 金井拓人 ・高木秀雄	10:30 T5-O-4 千葉県下総台地北部における更新統木下層谷埋め堆積物の層相と物性の変化. 中澤 努 ・坂田健太郎・野々垣進・本郷美佐緒・中里裕臣
	10:45 R7-O-7 (招待) ★ 地震発生サイクルシミュレーションとその地震発生予測への活用. 兵藤 守 ・堀 高峰・中田令子・有吉慶介	10:45 R14-O-8 横すべり断層に伴うR1シア型およびPシア型の副断層形成に関するアナログモデル実験. 島田拓弥 ・ 山北 聡	10:45 T5-O-5 茨城県筑波台地の地下に分布する更新統谷埋め堆積物の層序の再検討. 坂田健太郎 ・納谷友規・中澤 努・本郷美佐緒・中里裕臣
	11:15 R7-O-8 (招待) ★ 地震性タービダイトによる地震発生履歴研究の現状と課題. 池原 研	11:00 R14-O-9 褶曲・断層構造からみた北部フォッサマグナ地域の隆起過程. 小林健太 ・飯田圭輔	11:00 T5-O-6 大磯丘陵の中・後期更新世テフラのカタログの高度化と下総層群の編年への適用. 中里裕臣 ・坂田健太郎・中澤 努
	11:45 R7-O-9 日本海溝陸側斜面mid-slope terraceのタービダイト堆積と地震動との関連性. 宇佐見和子 ・池原 研・金松敏也	11:15 R14-O-10 島弧における2つの重要な下部地殻プロセス～コヒスタン古島弧の例. 中島 隆 ・河野義生・Kausar Allah Baksh・Khan Said Rahim	11:15 T5-O-7 千葉県千葉～船橋地域における下総層群の層序と地質構造. 納谷友規 ・坂田健太郎・宮地良典・小松原純子・中里裕臣・中澤 努
	12:00 R7-O-10★ 全有機炭素の放射性炭素年代連続測定による海底イベント堆積物認定の試み. 大村亜希子 ・宮入陽介・平林頌子・横山祐典・芦寿一郎	11:30 R14-O-11 (招待) ★ 伊豆衝突帯花崗岩類の系統的なジルコンU-Pb年代測定から明らかになった島弧－島弧衝突のテクトニクスとマグマティズム. 谷 健一郎 ・齊藤 哲・金丸龍夫・相馬伸介・Dunkley Daniel J.	11:30 T5-O-8 多摩川低地における沖積層の堆積相とその時空間分布. 田辺 晋 ・中島 礼・石原与四郎
	12:15 R7-O-11 南海トラフ土佐ばえ海盆の活断層とタービダイト：KY13-17航海とH15-2 Leg 3 航海の成果. 岩井雅夫 ・池原研・金松敏也・芦 寿一郎・KY13-17 航海並びにKH15-2 Leg3 航海乗船研究者		11:45 T5-O-9 大阪平野の表層地盤と地下水環境情報の融合について. 北田奈緒子 ・伊藤浩子・三村 衛・竹村恵二
			12:00 T5-O-10 地質環境問題と地質のオーダー－アーバン地質学の発展を目指して－. 風岡 修 ・楡井 久・高嶋 洋・香川 淳・吉田 剛
			12:15 T5-O-11 (招待) ★ 地質・地盤情報の法整備に向けた取り組み. 栗本史雄

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。（招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第123年学術大会（2016東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月10日（土）午前

会場	第6会場（3407教室）	第8会場（3403教室）	3206教室（3号館2階）
	R5. 地域地質・地域層序・年代層序	R1. 深成岩・火山岩とマグマプロセス	S1. みんなで考えよう、都市ハザードから放射性廃棄物問題まで —科学技術と社会科学の融合—（企業編）
	座長：1-4 内野隆之, 5-8 堤之恭, 9-13 松原典孝	座長：1-4 市山祐司, 5-9 加々島慎一	座長：1-5 竹内真司
9:00	<p>9:00 R5-O-1 関東山地、武甲山石灰岩下位の宇遠沢輝緑凝灰岩の主要・微量元素組成。富永紘平・久田健一郎・谷口英嗣・町田嗣樹・安川和孝・加藤泰浩</p> <p>9:15 R5-O-2 千葉複合セクションにおける高解像度Matuyama-Brunhes地磁気逆転記録。岡田 誠・羽田裕貴・菅沼悠介・風岡 修</p> <p>9:30 R5-O-3 横須賀軍港地域の地質とナウマンゾウの産地。蟹江康光</p> <p>9:45 R5-O-4 赤石山脈、赤石構造帯に発見した黒瀬川帯の構成要素。坂本正夫・長谷川美行・狩野謙一・酒井幸雄</p> <p>10:00 R5-O-5 富山県の新第三系八尾層群東別所累層の底生有孔虫化石層序。松永泰明・石垣武久</p> <p>10:15 R5-O-6 U-Pb及びFT年代測定による富山県八尾地域の第三系層序の再検討。中嶋 健・檀原 徹・岩野英樹・山下 透・佐脇貴幸・渡辺真人・中西 敏・三石裕之・山科起行・今堀誠一</p> <p>10:30 R5-O-7 濃飛流紋岩のジルコンU-Pb年代：約70 Maの急速形成。星 博幸・岩野英樹・檀原 徹・酒向和希</p> <p>10:45 R5-O-8 玄武岩質岩を伴う下部～中部三疊系珪質岩。佐野弘好・指田勝男・上松佐知子・奥村よほ子</p> <p>11:00 R5-O-9 舞鶴帯に見られるペルムートリアス紀の後背地変遷。堤之恭</p> <p>11:15 R5-O-10 山口県美祿市における秋吉帯常森層の岩相と堆積環境。脇田浩二・吉田瑠理</p> <p>11:30 R5-O-11 四国東部、那賀地域の黒瀬川帯・三宝山帯の地質構造。村田明広</p> <p>11:45 R5-O-12 フィリピン、レイテ島北西部新第三系の浮遊性有孔虫生層序。古澤明輝・間嶋隆一・加瀬友喜・林 広樹・Yolanda M. Aguilar・Allan Gils. Fernando</p> <p>12:00 R5-O-13 アラビア湾南岸地域におけるパレミアン階炭酸塩岩の化学層序。水島大輔・高柳栄子・石田圭史郎・浅原良浩・山本鋼志・佐藤時幸・井龍康文</p>	<p>9:00 R1-O-1 南部北上山地、カンブリア紀甫嶺珪長質岩類の産状について。土谷信高・足立達朗・中野伸彦・小山内康人</p> <p>9:15 R1-O-2 阿武隈帯中央部に分布する角閃岩および花崗岩類の地球化学的特徴。加々島慎一・鏡 早智・勝見貴史・斉藤翔里・松田秀平・吉田哲平</p> <p>9:30※講演取消 R1-O-3 西南日本、白亜紀火成活動の形成年代と組成変化。大和田正明・亀井淳志・宮下由香里・浦島遼平・西塚 大</p> <p>9:45 R1-O-4 ジルコンのU-Pb年代にもとづく山陽帯一領家帯の白亜紀火成活動史および剝削史。早坂康隆・田島詩織</p> <p>10:00 R1-O-5 瀬戸内高マグネシウム安山岩マグマ成因についてのマントル/メルト反応仮説に対する地質学的検定。真島英壽</p> <p>10:15 R1-O-6 早池峰-宮守オフィオライト中の超苦鉄質貫入岩から推定するオルドビス紀のマントルの熱状態。木村卓史・小澤一仁</p> <p>10:30 R1-O-7 Mg かんらん石に富む深成岩中の spinel-hosted mineral inclusion の形成過程。前田仁一郎</p> <p>10:45 R1-O-8 緑色岩の層序と岩石化学的検討による海洋域火山体の形成史の推定—北海道静内・三石地域を例として—。小澤愛美</p> <p>11:00 R1-O-9 嶺岡・瀬戸川帯かんらん岩類の再検討：IBM前弧玄武岩の溶け残りマントルか？市山祐司</p>	<p>9:00 S1-O-1 (招待) 空中物理探査の自然災害への適用。北原哲郎・結城洋一</p> <p>9:30 S1-O-2 (招待) 遠隔操作によるマルチクローラ型無人調査ロボットの開発。上條宏明・南澤孝太・小柳栄次</p> <p>10:00 S1-O-3 (招待) 災害リスク情報と防災まちづくり。寺脇 学</p> <p>10:45 S1-O-4 (招待) 沿岸海底下処分における考慮事項。河村秀紀・Chapman Neil</p> <p>11:15 S1-O-5 (招待) 海水準変動を考慮した淡塩密度流解析。菱谷智幸・前村庸之</p> <p>11:45 (総合討論)</p>
		R2. 岩石・鉱物・鉱床学一般	
		座長：1-2 五十公野裕也	
		<p>11:30 R2-O-1 地球活動と構成物変化：炭素と水銀含有物の特徴と将来。三浦保範</p> <p>11:45 R2-O-2 和歌山県串本町の海岸に産する銅・亜鉛・鉛の含塩素二次鉱物と鉄の硫酸塩二次鉱物。石橋 隆</p>	

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。(招待)：招待講演。(エントリー)：優秀ポスター賞エントリー講演